企業・団体名（　株式会社アミューズ　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・性別に依らない管理職登用、採用等の実施（2021年度管理職女性比率43.8%）。 ・障害のあるお客様やLGBTQ＋のお客様対応用の独自ガイドラインの設定、社員向け研修やセミナーの実施。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・外部弁護士を含む内部通報窓口（アミューズクリーンライン）の設定 ・各種ハラスメント研修の実施					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・長時間労働是正のための労働時間管理体制の整備。 ・短時間労働など多様な働き方を許容する勤務体制の整備。 ・車両専門部門の設置による、長時間労働になりやすいプロデュース部門の業務負荷軽減。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・国籍を問わない定期人材採用の実施。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・高い運転技能を持つドライバーの専門部署創設による、運転や安全管理等の質向上。 ・運転研修の実施。			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・年に一度のストレスチェックの実施。 ・産業医による健康相談体制の整備。			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・学歴、経験、国籍不問の定期人材採用の実施。 ・性別に依らない管理職登用の実施（2021年度管理職女性比率43.8%）。 ・託児所、ベビーシッター、介護サービスの料金を補助する「Amuse Family Care制度」の導入。 ・リモートワークの導入。 ・短時間労働など多様な働き方を許容する勤務体制の整備。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・アーティスト、社員の心身の健康、生産性向上を目的の一つとした本社移転。 ・年に一度のストレスチェックの実施。 ・産業医による健康相談体制の整備。 ・職域接種、検査体制など、新型コロナウイルス感染拡大防止体制の整備。 ・専用フィットネスジムの導入、提携フィットネスジムの利用補助。			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・次世代リーダー育成と国際交流を目的としたサミット「One Young World」への社員、アーティストの派遣。 ・各種セミナー、研修プログラムの実施。				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・賃金体系、諸手当の支給対象を統一。								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・分析ツール導入、および製造数決定フローの厳格化による、グッズの過剰製造防止。 ・山梨本社オフィスでのコンポストの導入。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・オフィス照明のLED導入、空調の温度・運転時間管理。 ・社員への省エネ意識の呼びかけ。							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・【予定】オフィス使用電力の実質再生可能エネルギー化。 ・【予定】主力事業における温室効果ガス排出量の把握、および削減計画の策定。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・グッズ製造において、法令等で規制されている有害物質を把握し、使用料の削減及び適切な使用に努め、サプライチェーン全体の化学物質管理を改善。 ・【予定】グッズ製造において、オーガニックコットンの栽培や生産過程で使われる水や有害な化学物質を削減。			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・モーター等の電力を使わず、湖の生態系に配慮したウォーターアクティビティの導入。						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・グッズ製造において、環境基本方針に従って、生産工程における排水・汚水処理、水の再利用を徹底し排水量を削減。 ・【予定】グッズ製造において、オーガニックコットンの栽培や生産過程で使われる水や有害な化学物質を削減。						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・【予定】環境の取り組みに関する情報開示の強化。												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・東京オフィスの使用電力を非化石証書を利用し実質再生可能エネルギーに切り替え。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・招集通知、事業報告書などへのFSC認証紙（ミックス）、植物油インキの利用。												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・eコマースにおけるプラスチック緩衝材の削減。 ・オフィス用品の使い捨てプラスチック削減。						○					○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・内部統制、J-SOXに関する全社説明会等の実施 ・内部監査部員向け「不正リスクに対応した内部監査のガイドライン」の策定																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・内部統制、J-SOXに関する全社説明会等の実施 ・内部監査部員向け「不正リスクに対応した内部監査のガイドライン」の策定																○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・コーポレートサイト内での権利侵害フォームの設置。 ・専門部署による著作権等権利管理の徹底。 ・著作権に関する研修の実施、および日常業務における各種権利意識の啓蒙。								○	○								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報管理部門を中心としたISO27001認証の運用 ・個人情報保護規定の制定 ・CSIRTチーム（AMUSE-SIRT）の運用																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・グッズ製造において、製品に使用する鉱物の来歴の確認を行うとともに、よりリスクの少ない原材料の選定、責任ある調達に取り組んでいる。 ・グッズ製造における自社製品の原材料の把握。																○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・グッズ製造における選定パートナー企業、取引先との対話を通じた人権侵害防止の取組み等の確認。 ・グッズの原材料調達から生産加工や在庫管理、流通から販売において環境問題を配慮したサプライチェーンの構築。				○			○		○		○	○	○	○	○	○
28		【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・グッズ製造において、製品の安全性を確認するため、使用上のリスク特定や分析を強化。 ・グッズ製造において、安全性の確保のため、第三者検品を強化。 ・グッズ製造において、製品の安全性、品質確保を考慮した取扱説明書の作成。 ・主催イベントにおける新型コロナウイルス感染症予防対策の基本方針およびガイドラインの策定・運用。			○								○					

29	製品・サービス	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・グッズ製造において、製品の安全性を確認するため、使用上のリスク特定や分析を強化。 ・グッズ製造において、安全性の確保のため、第三者検品を強化。 ・グッズ製造において、製品の安全性、品質確保を考慮した取扱説明書の作成。 ・カスタマーサービス窓口の設定。									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・間伐材を使用したマイ箸や、残糸を使用したハンドタオルなど、環境に配慮した株主優待品の作成。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・心身の健康に寄与するスポーツ・アクティビティ事業の展開。 ・地域経済活性化に向けた山梨県との「スポーツやアドベンチャーツーリズムを軸としたアウトドアアクティビティ、文化、観光の振興に関する包括連携協定」の締結。 ・県内外のサステナブルなアイテムを取り扱うショップ「PLANET＆ME」の運営。 ・各アーティストによるチャリティイベント/グッズなどの製作	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・コンポストの導入や使い捨てプラスティック削減によるゴミの削減。 ・山梨県内で開催したイベントにおけるCO2オフセット、リユース食器・エコステーション導入によるゴミ削減。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・大規模災害発生時などにおけるアミューズ募金や寄付の実施。 ・ウクライナ危機に際しての社内募金の実施。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・宿泊エリアでのアメニティなど山梨県内企業製品の導入。 ・地産無農薬野菜の栽培と、社員への食事提供。 ・県内外のサステナブルなアイテムを取り扱うショップ「PLANET＆ME」の運営。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・内部統制、J-SOXに関する全社説明会等の実施 ・内部監査部員向け「不正リスクに対応した内部監査のガイドライン」の策定																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営者が適時、経営理念、経営目標を社員に伝えている。 ・社長を委員長とするサステナビリティ委員会の定期開催。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・行動指針「AMUSE CREDO」および倫理規程等各種社内規程の制定。 ・外部弁護士を含む内部通報窓口（アミューズクリーンライン）の設定																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	サステナビリティ専門部署の設置。 部門横断のサステナビリティ委員会の設置。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・経営危機管理規程の制定 ・コーポレートガバナンス委員会でのリスク情報の共有																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・サステナビリティ委員会の設置と、課題ごとのゴール設定およびアクションプラン策定。																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・カスタマーサービス窓口の設定。 ・株主アンケート、機関投資家とのIRミーティングの実施。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・経営危機管理規程・危機管理マニュアルの制定 ・【予定】BCMS　Business Continuity Management Systemの策定に向けた取り組み ・各拠点リスクマップ・災害時マニュアルの作成や、防災備蓄品の拡充など、地震・水害・火山噴火等の際の社員・アーティストへの対応体制の整備									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	・後継者の選任、育成計画の策定 ・資本政策、経営計画の策定								○	○								○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17